

カンボジアはこんな国 (2010年 UNICEF資料)

面積: 約18万平方K
日本のおよそ半分



人口: 1,414万人 日本の9分の1



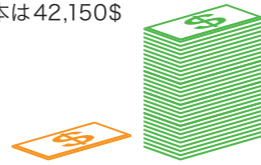
1歳未満の乳児死亡率: 1,000人当たり43人 日本は2人



5歳未満の幼児死亡率: 1,000人当たり51人 日本は3人



1人当たりの国民所得: 760\$
日本は42,150\$



子供が6年生まで学校に通える率 54%
日本は100%



いとうただお=1948年東京生。Leucaena C.J. (NGO) 事務局長。理技術顧問として2006/4~2008/3までカンボジアに在住。カンボジアで水河学術調査隊。CB14 (6079m、インド、初登)。バールミラ西壁 (5885m、ベルー)、フナイボトシ (6082m、ボトシ)、フナイボトシ山南壁 (USA、Yosemite) などの登山遠征。



特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット代表理事 伊藤 忠男

クライミングを通じて得られる様々な可能性が、より良く生きる力になると思っています。

他人に勝つ優越感より自分の限界を超えていく楽しさを、クライミングを通じて共に学びたい。

競争ではなく調和を、ひとに教えられることより自分で考えることを、深い人材を育てます。クライマーは自然やそこに住む人々との調和を常に感じ考えながら行動します。

楽しみや自分で考えることを覚える前に大人になってしまわないように、10歳くらいから働き始める子もいます。大人になっても続けられる開発途上国の子供たちは早く大人になります。家計を支えるために楽しむ時間も少なくていいことを知っています。

それはとても大事なことです。お金の生活のために必要な道具であつてそのものが幸福をもたらしてはなりません。成熟した社会は、楽しみや楽しみも時間をいかに豊かにしてくれることを知っています。

思われるものを中心に先進国は、開発途上国を援助しています。毎日の食事、衣服と家、医療など最低限、死なないために必要と

ACNは2008年2月に、アンコールワットの街シムリアップで日本人、カンボジア人を中心に設立されました。カンボジア人によるクライミングの実現を、めざしています。



ぼくたちは
クライミングで
フェアに
生きることを
学んでいる。



みなさまからいただいた会費や寄付金はこれらの活動に生かされています。

カンボジア人クライマーの育成支援

1年に3名のクライマーを育成、10年で30名を考えています。10年後、そのうち最低10名がインストラクターとしての技術を習得しており、半分の5名がプロになっている、といった展望を持ちます。2013年の時点では3名のカンボジア人がインストラクターとなり、2名の高校生が候補生(インターン)です。今後は、日本からプロクライマーを講師と呼んだり、適性や意欲の高いカンボジア人クライマーを日本に招聘してトレーニングを受けてもらうといったことも考えています。

クライマーの保険に替わる相互扶助システムの実現支援

カンボジア人がクライミングで障害を負った場合を想定して、ACNの会費及び様々なイベントでの寄付をプールしています。共済保険は理想ですが、まずクライマー同志で相互扶助する気運が生まれればと考えています。しかし、カンボジア人の生活費は年々急上昇しており、このプール金では賸りきれない可能性が出てきました。周辺国ですでに実現しているクライミング保険の出現が待たれます。大手保険会社に毎年、ビジターの人数資料を送り、クライミング保険の実現を働きかけています。このミッションは重く深い課題といえます。

ハードウェア(クライミングギア等)流通システムの実現支援

スポーツクライミングが人々に認知されるようになれば、やがてはクライミングギアの流通についても動きが出てくると思っています。ACNでは、タイやベトナムと連携をとるための準備調査と広報活動を行っています。

クライミングジムの運営と再構築

カンボジアで初めての人工壁を作ってからすでに3年になります。利用者は年々増加していますが、まだ運営コストをカバーできるだけに達していません。さらに屋外タイプのために強い直射日光と長い雨季の雨の影響で劣化が進んでいます。定期的に安全点検を実施しているものの、そろそろ再構築しなければなりません。また、人工壁の合理的な運営は、クライミングインストラクターを持続的な職業として、カンボジア社会に定着させるためにも、とても重要なミッションです。



会員を募集しています。

アンコール・クライマーズ・ネットは、支援者のみなさまからの年会費、寄付、寄贈品によって運営されています。

- 会費/一般年会費 5,000円 ※団体会員制度もあります
- 寄付/幾らでも随時受け付けています。
- 会費、寄付の送金先

ゆうちょ銀行
記号: 10010
番号: 75286831
口座名: アンコールクライマーズネット

三菱東京UFJ銀行
支店名: 調布支店
預金種目: 普通預金
口座番号: 0081781
口座名: アンコールクライマーズネット

CAMBODIAN COMMERCIAL BANK
003 SIEM REAP A/C 003-2-02667-4-840
NAME: MR. ITO TADAO
phone: +81-(0)90-4612-0884
※カンボジア在住の方は上記をご利用ください。US\$専用です。

※1口以上の会費や寄付をいただくと、ご希望されれば、カンボジアのクライミング速報やNewsLetterなどをお届け取りになります。

お問い合わせ先

Eメール: info@angkorclimbers.net

● 日本国内事務所
〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506
Tel: 042-498-2488

● カンボジア連絡所/シムリアップ
郵便用住所: P.O.Box 93044 Siem Reap, Cambodia
Tel: +855-(0)92-336-924 (スムロン)
人工壁 (Angkor Climbing Wall) 所在地:
Krus village, Svidoncom commune, Siem Reap, Cambodia



ACN
Angkor Climbers Net

www.angkorclimbers.net